日本脳炎予防接種について

特例対象者

平成17年度~平成21年度の間で積極的勧奨の差し控えによる接種の機会を逃した方(平成7年4月2日~平成19年4月1日に生まれた方)は、20歳になる<u>誕生日の前日</u>まで接種期間が緩和されました。

接種間隔と回数

全部で4回接種(1期初回を2回、1期追加を1回、2期を1回)します。 特例対象者の方は、過去の接種回数で接種間隔が異なりますので、下記を参考にしてください。

<過去に全く接種していない方>

1回目 6日から 28日あけて **2回目** おおむね 1 年あけて **3回目** 6日以上あけて (注 1) **4回目** ※2回目は 28日以上の間隔があいていても接種は可能、**3回目は 6 か月以上の間隔があいていれば接種は可能**

<過去に1回接種している方> 2回目 6日以上あけて 3回目 6日以上あけて(注 1)4回目

<過去に2回接種している方> 3回目 6日以上あけて(注 1) 4回目

<過去に3回接種している方> 4回目 のみ

(注 1) 3 回目終了後6日以上の間隔をおけば実施できるとしていますが、概ね5年の間隔をおいて接種することで、抗体が維持されることが期待されるため、国はこの間隔を参考とすることが望ましいとしています。

※「過去」とは・・・1期期間(7歳6か月)を指します。

日本脳炎について

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって 媒介され感染します。7~10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示 す急性脳炎になります。ヒトからヒトへの感染はありません。

副反応について

極めてまれにワクチン接種後に急性散在性脳脊髄炎(ADEM)が発生します。脳神経系の病気でワクチン接種後の場合は、通常数日から数週間程度で、発熱、頭痛、けいれん、運動障害などの症状が出ます。ステロイド剤などの治療により、多くの場合は回復しますが、運動障害や脳波異常などの神経系の後遺症が10%程度あるといわれています。

予防接種を受けに行く前に

(1) 一般的注意

<u>予防接種は体調のよい時に受けるのが原則です。</u>日ごろから保護者の方はお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。そして気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医や健康福祉センター地域保健課にご相談ください。

安全に予防接種を受けられるよう、保護者の方は、下記のことに注意の上、<u>当日に予防接種を受</u>けるかどうか判断してください。

- ① 当日は、朝からお子さんの状態をよく観察し、ふだんと変わったところのないことを確認するようにしましょう。予防接種を受ける予定であっても、体調が悪いと思ったら、かかりつけ医に相談のうえ接種をするかどうか判断するようにしましょう。
- ② この説明をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- ③ 受けるお子さんの日ごろの健康状態をよく知っている保護者の方(親権者、後見人)が連れて行きましょう。
- ④ 予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入するようにしましょう。
- ⑤ 母子健康手帳は必ず持っていきましょう。 なお、予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り接種が行われます。
- (2) 受けることができない人
 - ① 明らかに発熱(通常体温が 37.5℃以上の場合をさします。)をしている人 検温は接種を行う医療機関(施設)で行います。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人 急性の重症な病気で薬を飲む必要のある人は、その後の病気の変化もわからないことから、その 日は接種を受けないのが原則です。
- ③ その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな人
- ④ 予防接種を受けようとする病気にすでにかかったことがある、又は、現在かかっている人
- ⑤ その他、医師が不適当な状態と判断した場合 上の①~④に当てはまらなくても、医師が不適当と判断した場合は予防接種を受けることはできません。

※13歳以上の女性への接種にあたっては、妊娠中若しくは妊娠している可能性がある場合には原則接種しないこととし、予防接種の有益性が危険性を上回ると判断した場合のみ接種できます。接種前に、医師に確認して下さい。

- (3) 受けた後の注意事項
 - ① 予防接種を受けた後30分間は、接種会場でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。急な副反応はこの間に起こることがあります。
 - ② 接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日は激しい運動は避けましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。